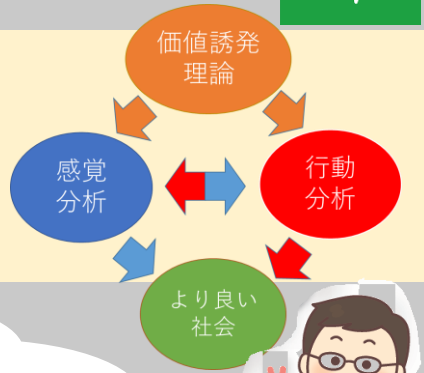




コロナ禍での生き方、 行動経済学で読み解く



コロナ禍においてより健康に気をつけて生きていくにはどうすればいいのか？
悩みは尽きません。そんな時誰かがそっと背中をおしてくれればと思うこともあるかも知れません。
今回お話しする行動経済学はノーベル経済学賞も受賞した最新の学問で、人の行動をそっと後押ししてくれる手法を研究する学問です。なぜいつもダイエットが失敗するのか？なぜいつも運動しようとしても諦めてしまうのか？どうしたら続けられるのか？自分を責めたことはありませんか？
人間は弱い生き物です。そんな弱い人間の背中をそっと押して導いてあげるのが行動経済学が提唱するナッジです。この講義では、ナッジに着目して、ナッジの意味や応用例を解説していきます。



講師 赤井 研樹 講師 (島根大学 研究・学術情報本部 地域包括ケア教育研究センター)

日時 2021.6.11(金) 15:50~17:00

講師紹介

専門は実験経済学。人間の価値の源泉と価値を追求する人間の行動原理を探求しています。
応用分野は医療・福祉・環境・農業・エネルギーと医・食・農・環を結びつける新しい経済学を実践しています。島根大学には2016年より赴任して隠岐の島をはじめ様々な地域連携をしています。

Zoomによる
オンライン開催
先着100名・参加無料

こちらからお申込み
いただけます。



<https://www.lsa2.shimane-u.ac.jp/enaveta/no/sciencecafe0611>